

平成 25 年

岩国市観光客動態調査
報 告 書

岩国市観光振興課

平成 25 年 岩国市観光アンケート調査

1 目 的

今後の観光行政をより効果的に推進していくための基礎的な資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を実施した。

2 調査概要

◎調査対象

聞き取り調査（錦帯橋周辺に限る）岩国市来訪者

◎調査場所および調査日

来訪者への聞き取り調査（錦帯橋周辺）

＊平成 25 年 4 ～12 月（随時）

◎サンプル数(有効回答) 5, 6 6 0 人（昨年 5, 1 2 5 人）

調査方法

観光アンケート調査は岩国観光ガイドボランティア協会に依頼した。期間を通じて、団体、個人旅行とバランスよく聞き取り調査を実施し、サンプル数が 5, 0 0 0 人を目標に実施をしている。

設問1：来岩観光客の地域別割合

順位	平成24年		平成25年	
1	中国・四国	30.09	中国・四国	29.34
2	関東	21.11	関東	23.28
3	近畿	16.06	近畿	14.71
4	九州	15.67	九州	14.32
5	中部	12.27	中部	12.07
6	北海道・東北	4.23	北海道・東北	5.40
7	外国	0.53	外国	0.81
	無回答	0.04	無回答	0.07
	計	100.00	計	100.00

来県別ベスト10は ①広島 ②東京 ③山口 ④大阪 ⑤福岡 ⑥神奈川 ⑦兵庫 ⑧愛知 ⑨岡山 ⑩千葉

H24 ①広島 ②東京 ③福岡 ④大阪 ⑤山口 ⑥愛知 ⑦兵庫 ⑧神奈川 ⑨岡山 ⑩島根

地域区分

北海道・東北	北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
中部	新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
外国	アメリカ・中国・韓国・台湾・フィリピン・イギリス・オーストラリア・ブラジル・オーストリア・フランス

設問2：あなたの性別は

順位	平成24年		平成25年	
1	女	51.03	男	50.02
2	男	48.33	女	49.63
	無回答	0.64	無回答	0.35
	計	100.00	計	100.00

☆団体バスツアーの地域別割合

(岩国市観光協会：観光バス入り込み状況より)

順位	平成24年		平成25年	
1	関東	25.79	関東	26.56
2	近畿	18.63	中国・四国	18.40
3	九州	16.56	九州	16.26
4	中国・四国	16.42	近畿	13.96
5	中部	15.12	中部	13.37
6	北海道・東北	5.01	北海道・東北	6.90
7	外国	2.47	外国	4.55
	計	100.00	計	100.00

近畿地方からのバスの入込みの減少が目立つ。また、バスの総台数が大幅に減り、昨年9,204台から8,245台となっている。

設問3：あなたの年齢は

順位	平成24年		平成25年	
1	60代以上	36.94	60代以上	35.69
2	50代	22.19	50代	21.97
3	30代	13.03	30代	15.49
4	20代	12.62	40代	14.12
5	40代	12.43	20代	11.55
6	10代	1.35	10代	1.13
	無回答	1.44	無回答	0.05
	計	100.00	計	100.00

来岩観光客の年齢割合は昨年に引き続き60代が1位、50代が2位となっている。

設問4：あなたが旅行に利用された交通機関は

順位	平成24年		平成25年	
1	車（2輪含む）	47.02	車（2輪含む）	46.38
2	列車	28.23	列車	27.17
3	バス	14.73	バス	12.84
4	航空機	9.22	航空機	12.78
5	その他	0.70	その他	0.72
	無回答	0.10	無回答	0.11
	計	100.00	計	100.00

昨年に比べ航空機の割合が増加しており、設問1において関東の割合が増加しているのは岩国錦帯橋空港開港の影響と考えられる。

設問5：岩国での宿泊は

順位	平成24年		平成25年	
1	泊まらない	91.74	泊まらない	89.89
2	泊まる	8.18	泊まる	7.76
	無回答	0.08	無回答	2.35
	計	100.00	計	100.00

昨年同様、宿泊をしない割合が9割を占めており、岩国は依然として通過型の観光地である。

設問6：泊まらない人の滞在時間

順位	平成24年		平成25年	
1	2～4時間	46.11	1～2時間	43.76
2	1～2時間	42.68	2～4時間	41.24
3	4時間以上	6.25	1時間未満	5.37
4	1時間未満	3.64	4時間以上	4.68
	無回答	1.32	無回答	4.95
	計	100.00	計	100.00

4時間以上滞在の割合が減少し、全体的に滞在時間が短くなっている。

設問7：岩国での使用金額

	平成24年		平成25年	
1	3,000円未満	44.76	3,000円未満	44.08
2	1,000円未満	26.35	1,000円未満	28.87
3	5,000円未満	17.85	5,000円未満	16.09
4	10,000円未満	3.40	10,000円未満	5.55
5	15,000円以上	3.02	15,000円以上	3.75
6	7,000円未満	1.97	15,000円未満	1.31
7	15,000円未満	1.44		
	無回答	1.21	無回答	0.35
	計	100.00	計	100.00

7,000円未満の項目が無くなったことにより10,000円未満の割合が増えているが、昨年に比べて使用金額に大きな変化は無い。

設問8：来岩回数

順位	平成24年		平成25年	
1	初めて	71.16	初めて	68.11
2	2回目以上	28.33	2回目	17.84
3			3回目	7.07
4			4回目以上	6.87
	無回答	0.51	無回答	0.11
	計	100.00	計	100.00

設問内容の精査を行い、具体的な回数を選択できるようにした結果、3回目以上が1割を超えていることがわかった。満足度を向上させることにより、更なるリピーター創出の可能性はある。

設問9：錦帯橋資料館は、必要と思うか

順位	平成24年		平成25年	
1	必要と思う	76.08	必要と思う	84.43
2	どちらでもよい	21.70	必要とは思わない	14.88
3	必要とは思わない	1.68		
	無回答	0.54	無回答	0.69
	計	100.00	計	100.00

錦帯橋資料館が必要と思う方が8割以上を占めており、必要性の高さを示している。

設問10：旅行先を決めるのに最も参考にしたものは

順位	平成24年		平成25年	
1	ツアーコースに載っている	21.39	旅行雑誌・ガイドブック	27.70
2	新聞・雑誌	18.24	旅行代理店を通じて	17.58
3	その他	16.68	その他	14.47
4	テレビ・ラジオ	12.39	インターネット	12.86
5	インターネット	12.16	友人の話	12.05
6	友人の話	9.93	テレビ・ラジオ	7.86
7	パンフ・ポスター	8.45	パンフ・ポスター	6.93
8	ツイッター・フェイスブックなどのSNS	0.49		
	無回答	0.27	無回答	0.55
	計	100.00	計	100.00

旅行雑誌・ガイドブックの割合が高く、高齢層が多いためかインターネットの割合が低い。

設問11：岩国に来る直前に立ち寄ってきた観光地は

順位	平成24年		平成25年	
1	宮島・広島	42.36	自宅	40.57
2	自宅	39.28	宮島・広島	39.68
3	山口・秋芳	5.74	山口県内	13.13
4	萩・津和野	5.66	山陰	3.00
5	その他	3.00	九州	1.98
6	柳井・大島	1.68	その他	0.99
7	九州	1.23	四国	0.49
8	山陰	0.60		
9	四国	0.33		
	無回答	0.12	無回答	0.16
	計	100.00	計	100.00

設問12：これから行く観光地は

順位	平成24年		平成25年	
1	宮島・広島	37.29	宮島・広島	36.70
2	自宅	34.56	自宅	31.78
3	萩・津和野	9.03	山口県内	22.76
4	山口・秋芳	7.45	九州	3.90
5	その他	4.55	山陰	2.84
6	九州	3.40	その他	1.15
7	柳井・大島	2.07	四国	0.76
8	山陰	0.74		
9	四国	0.66		
	無回答	0.25	無回答	0.11
	計	100.00	計	100.00

問11、問12ともに「宮島・広島」の割合が約4割を占め、広島から岩国への観光ルートの結びつきが強いことがわかる。問11において自宅の割合が増えているのは、関東からの観光客が岩国錦帯橋空港を利用しているためと思われる。また、問11、問12ともに山陰の割合が増えているのは出雲大社の平成の大遷宮による影響と思われる。

設問13：岩国で不満に感じた点

順位	平成24年		平成25年	
1	とくになし	64.76	とくになし	79.15
2	休憩施設が少ない	16.03	休憩施設が少ない	8.48
3	トイレが足りない・場所がわからない	6.83	トイレが足りない・場所がわからない	5.49
4	観光スポットへの案内標識が不十分	4.36	観光スポットへの案内標識が不十分	3.48
5	交通の便がよい	3.33	交通の便がよい	1.96
6	その他	2.91	駐車場が足りない・場所がわからない	0.87
7	駐車場が足りない・場所がわからない	1.39		
	無回答	0.39	無回答	0.57
	計	100.00	計	100.00

平成25年に寄付によりベンチを増設した結果、休憩施設が少ないという不満が減った。また、不満は特になしという方の割合も約8割に達しており、更なる満足度向上に努めたい。

設問14：岩国市内で錦帯橋以外に回られた観光施設（新設）

順位	平成24年		平成25年	
1			2～3ヶ所	46.98
2			4～5ヶ所	26.93
3			なし	13.90
4			6ヶ所以上	6.82
5			1ヶ所	5.21
			無回答	0.16
			計	100.00

平成25年から実施した設問で、2～3ヶ所が約5割を占めており、なしの割合も1割を超えている。周遊した観光施設が少ないことが滞在時間が短い原因と考えられる。

設問15：錦帯橋が世界遺産登録を目指していることを知っているか（新設）

順位	平成24年		平成25年	
1			知らない	76.45
2			知っている	23.32
			無回答	0.23
			計	100.00

知っている方は2割程度にとどまっている。世界遺産登録に向けて機運を盛り上げるため更なるPRに努めていきたい。

平成 25 年の観光動向について

平成 25 年は、岩国市全体の観光入込客数は 3,112,598 人と、対前年比約 6.9% 減となりました。しかしながら、平成 25 年の観光入込客数の減少は、平成 24 年には入込客数 280,000 人に上った「日米親善デー」が中止となったことが、大きな要因だと思われます。

前年の観光入込客数 3,342,953 人から、「日米親善デー」の入込客数 280,000 人を除くと 3,062,953 人となり、日米親善デーを除いた観光入込客数での比較では、対前年比約 1.6% となりました。

岩国市の観光入込客数の指標となる錦帯橋の年間の入橋者数については、対前年比約 0.4% の増加の 700,866 人となり、3 年ぶりに 70 万人を突破しました。月毎に見ると、1 月、2 月、3 月の増加が目立ちます。これは、1 月、2 月は、岩国錦帯橋空港の開港と巳年による白蛇人気の影響の相乗効果と考えられます。また、3 月については、例年は 4 月である花見のピークが 3 月になり、花見客が集中したため大幅増となっております。反対に 4 月が大幅減となっているのはその反動と考えられます。

その結果、錦帯橋周辺の観光施設の入込客数は対前年比 4 % 増加となっております。しかしながら、錦帯橋周辺以外の施設では約 2 % 減少となっており、結果として観光施設全体で約 2 % 増となっております。

観光イベントでは、I ーフェスタをはじめ、ほとんどのイベントで対前年比増となっておりますが、岩国最大の集客イベント「日米親善デー」の中止による大幅減の影響が大きく、イベント全体で約 33% の減少となっております。

さて、アンケート調査により推察される平成 25 年の傾向について、設問 1 の来岩観光客の地域別割合の順位に変動はありませんが、関東の割合が増加しており、また、設問 4 の交通機関において航空機の割合が 3% 増となっていることから、岩国錦帯橋空港開港の効果による増加と考えられます。

団体バスツアーの地域別割合では近畿地方の減少が目立ちます。また、団体バスの総台数も減っておりますが、これは貸切バスの交代運転者の配置基準が改正されたことや、伊勢神宮の遷宮が行われたことで関西方面の観光客の流れが変わったことが原因と思われます。

観光客の年齢層は「20代」が減少し、「40代」と順位が逆転しました。その他については大きな変化は無く、高年齢層の割合が高い状況です。そのため、旅行先決定の参考にしたものにおいて「旅行雑誌・ガイドブック」や「旅行代理店を通じて」の割合が高く、逆にインターネットやテレビ・ラジオなどの割合が低くなっていると考えられます。

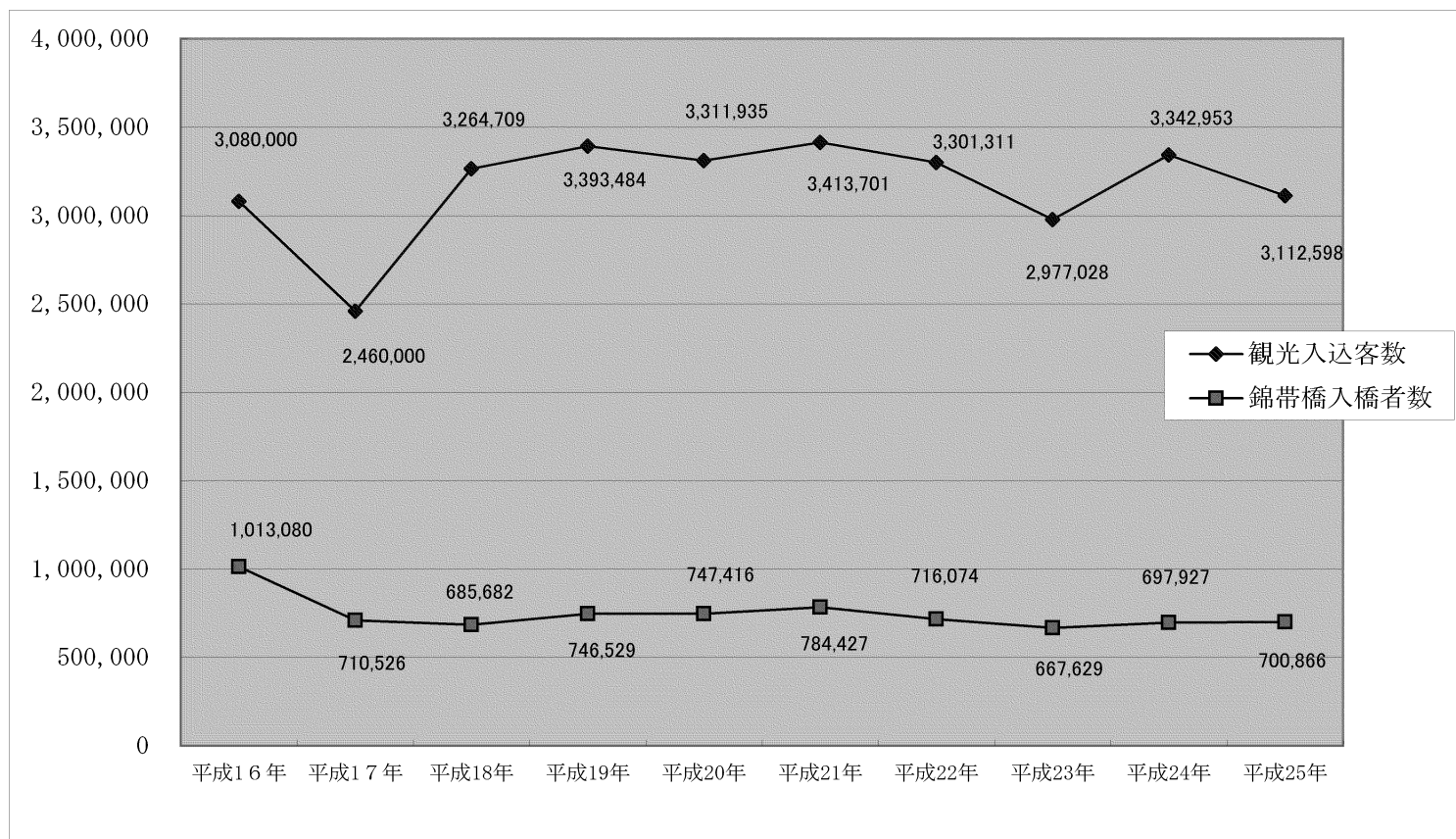
宿泊客数の割合については依然として宿泊しないが約90%となっております。また、宿泊しない人の滞在時間については、「4時間以上」や「2～4時間」が減少し「1時間未満」や「1～2時間」が増加しているため、全体的に滞在時間が短縮していると言えます。滞在時間が短い原因としては、設問14において見られるとおり、観光客の約半数が錦帯橋以外では「2～3ヶ所」しか訪れないなど、周遊した観光施設が少ないためと考えられ、結果的に使用金額が少ない割合が高い原因とも考えられます。

来岩回数では、具体的な回数を選択できるようにした結果、3回目以上が約14%となっております。満足度を向上させることで更なるリピーター創出の可能性があると思われます。

直前に立ち寄った観光地や次に行く観光地については、「宮島・広島」の割合が高く、「広島・宮島・岩国」がひとつの観光ルートとして確立されていることがわかります。また、両設問について「山陰」の割合が増えているのは、出雲大社の平成の大遷宮による影響と考えられます。

最後に錦帯橋資料館の必要性については「必要と思う」が約84%となっており、錦帯橋への関心の高さが伺える一方、錦帯橋が世界遺産登録を目指していることについての認知度は約23%にとどまっております。錦帯橋資料館の設置は観光客の満足度を向上させるのみでなく、世界遺産登録を目指す取組みの周知に最適な場所になると考えられます。

岩国市の観光入込客数と錦帯橋入橋者数の推移（過去10年間）



	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
観光入込客数	3,080,000	2,460,000	3,264,709	3,393,484	3,311,935	3,413,701	3,301,311	2,977,028	3,342,953	3,112,598
錦帯橋入橋者数	1,013,080	710,526	685,682	746,529	747,416	784,427	716,074	667,629	697,927	700,866

※平成16年3月「平成の架け替え」完了

※平成17年は台風14号の山陽自動車道通行止の影響により減少

※平成18年3月20日合併により、平成18年から観光入込客数は大幅に増加している。

※平成23年3月11日東日本大震災発生。6月19日高速道路ETC割引廃止。

※平成24年12月13日岩国錦帯橋空港開港

過去３年間の錦帯橋入橋者数（月別）

（単位：人）

年・月	平成23年	平成24年	平成25年		
			対前年比		
1 月	32,423	33,150	102.2%	49,149	148.3%
2 月	26,352	32,092	121.8%	42,487	132.4%
3 月	57,927	55,078	95.1%	76,571	139.0%
4 月	85,843	96,038	111.9%	75,710	78.8%
5 月	70,311	75,275	107.1%	73,157	97.2%
6 月	38,918	41,403	106.4%	40,368	97.5%
7 月	45,251	42,440	93.8%	45,007	106.0%
8 月	71,355	72,284	101.3%	66,823	92.4%
9 月	51,755	48,833	94.4%	51,254	105.0%
10 月	57,629	59,428	103.1%	52,822	88.9%
11 月	78,268	85,425	109.1%	76,539	89.6%
12 月	51,597	56,481	109.5%	50,979	90.3%
合 計	667,629	697,927	104.5%	700,866	100.4%